

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)

【公開番号】特開 2003-227545 (P2003-227545A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)
 【出願番号】特願 2002-27789 (P2002-27789)
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 F 15/04

E 0 4 B 1/36

E 0 4 H 9/02

【 F I 】

F 1 6 F 15/04 P

E 0 4 B 1/36 B

E 0 4 H 9/02 3 3 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 5 月 27 日 (2003.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

これらの積層ゴムは鉛直方向には建物荷重を支え続ける高い剛性を持ち、水平方向には地震時に建物が大きく動ける低い剛性を持つ。これらはいずれも図 6 に示すように、積層ゴム 1 の上下端面にそれぞれ固設されたフランジ 2、3 を介して、上下の構造物 4 及び基礎面 5 にそれぞれ埋め込まれたベースプレート 6、7 などの金物にボルト 8 が結合されている。

このため、将来何らかの理由で積層ゴム 1 の交換が必要となった場合は、ボルト 8 をはずし、上部の構造物 4 を僅かに浮かすことで交換が可能である。

免震層は上部構造の剛性に比べ遥かに低い水平剛性を持つため、地震が発生しても、上部建物を水平に大きくゆっくり動かすことで地震力を低減する効果がある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

